

治験審査委員会 記録の概要

日 時：2009年12月17日（木） 午後3時00分 ～ 午後3時20分
場 所：東棟2階 会議室

出席者（順不同）

加知副院長 野呂薬剤部長 徳田臨床検査部長
寺西看護部長 古山会計課長 鍋島外部委託員 高橋外部委託員
深田第一手術室医長（途中退室）

欠席者

長谷川運営局次長

議 事

2009年度 治験等申請

市販後調査（使用成績調査1件、副作用報告1件）が承認された。

2009年度 治験等進行状況の確認

事務局より、2009年12月17日現在の2009年度治験等進行状況について報告がなされ、特に意見なく了解された。

- ・ E2020のレビー小体型認知症(DLB)を対象とした二重盲検比較試験 臨床第Ⅱ相
依頼者：エーザイ株式会社
開発の相：第Ⅱ相
被験薬：E2020（ドネペジル塩酸塩）
治験責任医師より、治験終了報告書が提出された。特に議論なく承認とされた。
- ・ E2020のレビー小体型認知症(DLB)を対象とした継続長期投与試験 臨床第Ⅱ相
依頼者：エーザイ株式会社
開発の相：第Ⅱ相
被験薬：E2020（ドネペジル塩酸塩）
治験責任医師より、治験終了報告書が提出された。特に議論なく承認とされた。

実施計画書等の変更等に関する報告

- ・ ENA713D/ONO-2540経皮吸収型製剤1日1回のアルツハイマー型認知症患者(MMSE 10-20)に対する有効性、安全性、忍容性について評価する24週間投与、多施設共同、無作為割付、プラセボ対照、二重盲検並行群間比較、用量設定試験、および付随する52週間非盲検継続投与試験
依頼者：小野薬品工業株式会社
開発の相：後期第Ⅱ相/Ⅲ相
被験薬：ENA713D/ONO-2540（Rivastigmine）
治験依頼者と治験責任医師より、治験に関する変更申請書が提出された。治験実施計画書付録の改訂であり、審議され、特に議論なく承認とされた。
- ・ AS-3201の二重盲検法による用量設定試験[後期Ⅱ相]
依頼者：大日本住友製薬株式会社

開発の相：後期第Ⅱ相

被験薬：AS-3201（ラニレスタット）

治験責任医師より、治験に関する変更申請書が提出された。同意説明文書の改訂であり、審議され、特に議論なく承認とされた。

- ・中外製薬株式会社からの依頼 第Ⅰ相試験

依頼者：中外製薬

開発の相：第Ⅰ相

治験依頼者と治験責任医師より、治験に関する変更申請書が提出された。治験実施計画書の改訂であり、審議され、特に議論なく承認とされた。

有害事象に関する報告

以下は治験依頼者からの有害事象に関する報告である。治験依頼者及び治験責任医師が治験の継続に問題なく、治験実施計画書及び同意説明文書の変更の必要性はないと判断している。治験を継続することについて審議され、特に議論なくそれぞれ承認された。

- ・アスピオファーマ株式会社依頼による第Ⅲ相試験

依頼者：アスピオファーマ株式会社

開発の相：第Ⅲ相

- ・ENA713D/ONO-2540経皮吸収型製剤1日1回のアルツハイマー型認知症患者(MMSE 10-20)に対する有効性、安全性、忍容性について評価する24週間投与、多施設共同、無作為割付、プラセボ対照、二重盲検並行群間比較、用量設定試験、および付随する52週間非盲検継続投与試験

依頼者：小野薬品工業株式会社

開発の相：後期第Ⅱ相/Ⅲ相

被験薬：ENA713D/ONO-2540（Rivastigmine）

- ・急性内科疾患により入院した患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制に関するリバロキサバンの有効性及び安全性をエノキサパリンを対照として検討する多施設共同、無作為化、並行群間比較試験

依頼者：バイエル薬品株式会社

開発の相：第Ⅲ相

被験薬：BAY59-7939（リバロキサバン）

以下は治験依頼者からの有害事象に関する報告である。治験依頼者及び治験責任医師が治験の継続に問題なく、治験実施計画書の変更の必要性はないと判断している。治験を継続することについて審議され、特に議論なくそれぞれ承認された。

- ・AS-3201の二重盲検法による用量設定試験[後期Ⅱ相]

依頼者：大日本住友製薬株式会社

開発の相：後期第Ⅱ相

被験薬：AS-3201（ラニレスタット）

以下は、治験依頼者からの有害事象に関する報告であるが、期間中に重篤副作用等症例及び治験実施上重要と考えられる副作用報告等の集積はなかったため、報告のみ行った。

- ・SI-6603の腰椎椎間板ヘルニア患者を対象とした二重盲検試験

依頼者：生化学工業株式会社
開発の相：第Ⅱ/Ⅲ相
被験薬：SI-6603

開発の中止等に関する報告

- ・試験名：脳梗塞再発予防効果および安全性評価に関する試験
依頼者：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
開発の相：第Ⅲ相
被験薬：Aggrenox（ジピリダモール/アセチルサリチル酸配合剤）
今回当該被験薬の開発の中止をする文書が提出された。

迅速審査報告

- ・急性内科疾患により入院した患者における静脈血栓塞栓症の発症抑制に関するリバロキサバンの有効性及び安全性をエノキサパリンを対照として検討する多施設共同、無作為化、並行群間比較試験
依頼者：バイエル薬品株式会社
開発の相：第Ⅲ相
被験薬：BAY59-7939（リバロキサバン）
症例追加申請で迅速審査を実施した。

その他

- ・次回治験審査委員会開催予定

以上了承